

横須賀市健康増進計画（第3次）・横須賀市食育推進計画（第2次）中間評価のまとめ（全体）

2. 評価

2-1 中間評価の目的

横須賀市健康増進計画（第3次）・横須賀市食育推進計画（第2次）（健康・食育推進プランよこすか）は平成25年度を初年度とし、平成34年度を目標年度とする10年計画です。

今回の中間評価は、前半5年間の目標値の達成状況や取組み状況を評価するとともに、健康を取り巻く社会情勢や制度の変更を踏まえ、今後5年間の計画の推進に活かすことを目的とします。

2-2 中間評価の方法

中間評価では、策定時に設定した目標値について、アンケート調査結果や各種統計データ、事業の実績などにより策定時と直近値との数値を比較し評価を行いました。

計画に定めた数値目標は、下記の表の基準により5段階で評価を行いました。

判定区分	判定基準
◎	目標値を達成している
○	目標値に達成していないが、策定当初より改善方向にある
△	策定当初と変わらない 改善がみられない（+1%以内）
×	策定当初より悪化している
—	判定できない、把握できない

2-3 中間評価の達成状況

中間評価における目標指標の達成状況は、37項目の指標のうち、「◎ 達成」は12項目の指標で全体の32.4%、「○ 改善」は9項目の指標で24.3%、合計で56.7%となり一定の改善がみられました。一方で、「× 悪化」は14項目の指標で37.9%に改善がみられませんでした。

分野別では、がん、健康づくりを目的としたネットワーク、喫煙、歯・口腔の健康で改善率が高く、栄養・食生活で低く、その他の分野については、世代や性別等によって評価が分かれる状況でした。

分野別	判定区分	◎ 達成	○ 改善	△ 変化なし	× 悪化	— 判定不能	合計
がん		0	1	0	0	0	1
循環器疾患・糖尿病		4	0	0	4	0	8
健康づくりを目的としたネットワーク		1	1	0	0	0	2
食育		1	1	1	1	0	4
栄養・食生活		1	1	0	6	0	8
身体活動・運動		2	0	0	1	0	3
休養・こころの健康		0	1	0	1	0	2
喫煙		0	3	0	0	0	3
飲酒		1	0	0	1	1	3
歯・口腔の健康		2	1	0	0	0	3
合計 (割合)		12 (32.4%)	9 (24.3%)	1 (2.7%)	14 (37.9%)	1 (2.7%)	37 (100%)

判定	主な目標指標
達成	<ul style="list-style-type: none"> ・脳血管疾患年齢調整死亡率（男性）（女性） ・虚血性心疾患年齢調整死亡率（男性）（女性） ・ラジオ体操を指導できる人数(ラジオ体操サポーターの人数) ・学校給食における地場産物を使用する割合（食材料ベース）統一献立による使用率 ・適正体重（BMI18.5以上25未満）を維持する人の割合（中学生・高校生） ・生活活動（通勤・買い物・掃除等）の中で、運動量を高める工夫をしている人の割合 ・習慣的に運動（1回30分以上の運動を週2日）している人の割合（成人男性） ・1日に平均で飲む量が中瓶3本以上の人の割合（男性） ・60歳で自分の歯を24本以上持つ人の割合 ・12歳の1人平均う歯数
改善	<ul style="list-style-type: none"> ・75歳未満のがんの年齢調整死亡率 ・食生活改善推進員の数（ヘルスマイトよこすかの会員数） ・「よこすかE表示協力店」「よこすかE表示情報発信店」数 ・食事バランスガイドなどを参考に食生活を送っている市民の割合 ・自殺者数 ・喫煙率（成人）（未成年） ・家庭での分煙率 ・過去1年間に歯科健診を受けた人の割合（成人）
変化なし	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関心を持っている市民の割合
悪化	<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドロームの予備群・該当者の割合（40～74歳） ・糖尿病及び予備群と考えられる人の割合（40～74歳） ・高血圧及び予備群と考えられる人の割合（40～74歳） ・脂質異常症及び予備群と考えられる人の割合（40～74歳） ・栄養成分表示が必要だと思ふ市民の割合 ・肥満（BMI25以上）の割合（20～60歳代男性）（40～60歳代女性） ・適正体重（BMI18.5以上25未満）を維持する人の割合（19～59歳）（60～79歳） ・1日3食食べる人（朝食を食べている人）の割合（1～18歳）（19～59歳） ・習慣的に運動（1回30分以上の運動を週2日）している人の割合（成人女性） ・いつもの睡眠で、休養がとれていると思ふ人の割合 ・1日に平均で飲む量が中瓶3本以上の人の割合（女性）
判定不能	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な飲酒量を知っている市民の割合

2-4 中間評価

(1) 生活習慣病の発症予防と重症化予防

①がん

計画策定時の基準値と比較すると、「75歳未満のがんの年齢調整死亡率」は減少していますが、依然として、がん（悪性新生物）は死因別死亡率が最も高くなっています。

予防、診断、治療等を総合的に推進していくとともに、早期発見を促すため、引き続きがん検診の受診を促進していく必要があります。

②循環器疾患・糖尿病

「脳血管疾患年齢調整死亡率」「虚血性心疾患年齢調整死亡率」の減少は、医療の発達による全国的傾向といわれる一方で、これらの疾病の発症の危険因子を持つ「メタボリックシンドロームの予備群・該当者の割合」や「高血圧及び予備群と考えられる人の割合」は増加しています。

また、「糖尿病及び予備群と考えられる人の割合」も増加しており、生活習慣の改善を促すとともに重症化を予防していく必要があります。

(2) 健康を支え、守るための社会環境の整備

健康づくりを目的としたネットワーク

「食生活改善推進員の数（ヘルスマイトよこすかの会員数）」は増加、「ラジオ体操を指導できる人数（ラジオ体操サポーターの人数）」は626人となり、地域で健康づくり活動をする人は増加しました。

今後はさらにネットワークを生かして、地域のニーズや実情に応じた自主的な健康づくり活動を広げていくための支援をしていく必要があります。

(3) 食文化の理解と食生活の改善

食育

「学校給食における地場産物を使用する割合」は増加しています。また「よこすかE表示協力店・よこすかE表示情報発信店数」についても増加しています。しかし、「食育に関心を持っている市民の割合」は横ばい、「栄養成分表示が必要だと思う市民の割合」については減少しています。

食育に関する啓発や、エネルギーや塩分量などを食品等に記載した栄養成分表示を活用するなど食を通じた生活習慣病予防を行う必要があります。

(4) 健康の維持向上のための生活習慣の改善と環境づくり

①栄養・食生活

一般的に、「適正体重(BMI18.5以上25未満)を維持している人の割合」は減少し、「肥満の割合(BMI25以上)」は増加しています。また「1日3食食べる人(朝食を食べている人)の割合」は減少しています。一方で「食事バランスガイドなどを参考に食生活を送っている人の割合」は微増となっています。

食べ過ぎや欠食等の食生活の乱れは、健全な生活活動の営みを妨げます。そして、健康の保持・

増進のために、栄養成分表示や食事バランスガイドなどを参考にしながら、望ましい食習慣を身につけるよう、啓発を行っていく必要があります。

②身体活動・運動

「生活活動（通勤・買い物・掃除等）の中で、運動量を高める工夫をしている人の割合」及び「習慣的に運動（1回30分以上の運動を週2日）している成人男性の割合」は目標を達成しています。

一方、「成人女性における習慣的に運動している割合」が減少しています。運動習慣を持つことは難しい状況もあることが考えられますが、日ごろの生活の中での身体活動を増やすなど、運動量を高めていく必要があります。

③休養・こころの健康

「自殺者数」は減少していますが、「いつもの睡眠で、休養がとれていると思う人の割合」は、減少しています。

様々なストレスを抱えることが多い現在、こころの健康を保つためには、休養や十分な睡眠が大切であり、ストレスを抱え込まないよう、引き続き、生活リズムを整えることの重要性の啓発や相談窓口等の情報提供やこころの健康づくりに関する教室、サポート体制を充実していく必要があります。

④喫煙

「喫煙率」は減少、「家庭での分煙率」は増加しており、喫煙の健康リスクに対する意識が高まっています。

喫煙は、がん、循環器疾患、糖尿病、COPDの危険因子であり、禁煙によりこれらを予防することが可能です。引き続き、喫煙が身体に及ぼす影響等の知識の普及を行うとともに、受動喫煙防止を推進していく必要があります。

⑤飲酒

今回の調査で、「適正な飲酒量を知っている市民の割合」は45.7%となっています。「1日に平均で飲む量が中瓶3本以上の人の割合」は男性では減少したものの、女性では増加しています。

適度な飲酒は心身に良い作用をもたらしますが、過度な飲酒は様々な健康被害を引き起こすため、引き続き、飲酒に対する正しい知識の普及啓発をしていく必要があります。

⑥歯・口腔の健康

「60歳で自分の歯を24本以上持つ人の割合」「12歳の1人平均う歯数」については目標を達成し、過去1年間に歯科健診を受けた人の割合（成人）についても増加しています。

歯・口腔の健康は、食べる、話すといった面に限らず、生活の質に大きく関係しており、子どもの頃から歯科疾患の予防を行うとともに、8020運動の推進等、歯・口腔の健康に取り組む必要があります。

2-5 計画目標値及び中間評価の現状値一覧

●：健康増進計画 ■：食育推進計画

取り組みの分野	重点目標	評価指標	策定時	中間値	評価	目標値 (H34年度)
(1) 生活習慣病の発症予防と重症化予防						
がん	●がんの死亡者を減らす	●75歳未満のがんの年齢調整死亡率(10万人当たり)	86.6	76.6	○	73.9
循環器疾患・糖尿病	●メタボリックシンドローム予備群・該当者を減らす ●循環器疾患・糖尿病の有病率を減らす	●脳血管疾患年齢調整死亡率	男性 48.5 女性 28.6	男性 34.3 女性 16.9	◎ ◎	男性 41.6 女性 24.7
		●虚血性心疾患年齢調整死亡率	男性 34.9 女性 12.4	男性 27.3 女性 8.2	◎ ◎	男性 31.8 女性 減少
		●メタボリックシンドロームの予備群・該当者の割合(40~74歳)	25.7%	27.3%	×	20%以下
		●糖尿病及び予備群と考えられる人の割合(40~74歳)	10.3%	10.7%	×	10%以下
		●高血圧及び予備群と考えられる人の割合(40~74歳)	39.4%	40.1%	×	30%以下
		●脂質異常症及び予備群と考えられる人の割合(40~74歳)	26.2%	29.5%	×	25%以下
(2) 健康を支え、守るための社会環境の整備						
健康づくりを目的としたネットワーク	●健康づくり活動に主体的に関わっている人を増やす	●■食生活改善推進員の数(ヘルスマイトよこすかの会員数)	36人	56人	○	86人以上
		●ラジオ体操を指導できる人数(ラジオ体操サポーターの人数)	0人	626人	◎	200人以上
(3) 食文化の理解と食生活の改善						
食育	●食文化への理解をすすめる ●食育に関心を持つ市民の割合を増やす	■食育に関心を持っている市民の割合	69.5%	70.5%	△	80%以上
		■学校給食における地場産物を使用する割合(食材料ベース)統一献立による使用率	13.2%	15.4%	◎	13.2%以上
		■「よこすかE表示協力店」「よこすかE表示情報発信店」数	17店	105店	○	330店以上
		■栄養成分表示が必要だと思う市民の割合	65%	54.1%	×	75%以上
(4) 健康の維持向上のための生活習慣の改善と環境づくり						
栄養・食生活	●適正体重を維持している人を増やす	●■肥満(BMI25以上)の割合	20~60歳代男性 26.2%	20~60歳代男性 33.9%	×	25%以下
			40~60歳代女性 15.5%	40~60歳代女性 16.4%	×	15%以下
		●■適正体重(BMI18.5以上25未満)を維持する人の割合	中学生・高校生 60.1%	中学生・高校生 64.3%	◎	増加
			19~59歳 69.9%	19~59歳 64.9%	×	75%以上
	●バランスよく3食食べる人を増やす	●■1日3食食べる人(朝食を食べている人)の割合	1~18歳 93.4%	1~18歳 89.7%	×	95%以上
			19~59歳 74.5%	19~59歳 73.4%	×	80%以上
		●■食事バランスガイドなどを参考に食生活を送っている市民の割合	25%	27.6%	○	50%以上

取り組みの分野	重点目標	評価指標	策定時	中間値	評価	目標値 (H34年度)
身体活動・運動	●日常生活の中で、意識的にからだを動かす人を増やす	●生活活動（通勤・買い物・掃除等）の中で、運動量を高める工夫をしている人の割合	—	70.7%	◎	70%以上
		●習慣的に運動（1回30分以上の運動を週2日）している人の割合	成人男性 49.0% 成人女性 44.6%	成人男性 50.0% 成人女性 41.4%	◎ ×	50%以上 45%以上
休養・こころの健康	●活動と休養のバランスがとれた生活を送ることができる人を増やす ●自殺による死亡者をなくす	●いつもの睡眠で、休養がとれていると思う人の割合	71.3%	70.2%	×	80%以上
		●自殺者数	97人	80人	○	60人未満
喫煙	●たばこを吸う人を減らす ●家庭での分煙率を増やす	●喫煙率	成人 19.2% 未成年 2.9%	成人 16.4% 未成年 1.2%	○ ○	12%以下 0%に近づける
		●家庭での分煙率	69.8%	73.3%	○	80%以上
飲酒	●適正な飲酒量などの知識を普及する	●適正な飲酒量を知っている市民の割合	—	45.7%	—	50%以上
		●1日に平均で飲む量が中瓶3本以上の人の割合	男性 13.5% 女性 1.9%	男性 7.5% 女性 3.6%	◎ ×	10%以下 1.5%以下
歯・口腔の健康	●生涯にわたって自分の歯でおいしく食べられる人を増やす（8020運動の推進）	●60歳で自分の歯を24本以上持つ人の割合	73.9%	80.9%	◎	75%以上
		●12歳の1人平均う歯数	1.04 歯	0.64 歯	◎	1.0 歯未満
		●過去1年間に歯科健診を受けた人の割合（成人）	37.5%	46.9%	○	50%以上